



県北教育事務所 社会教育だより

つながれ KENPOKU

令和7年10月15日 発行

今回は、福島市学習センター訪問の第3弾として松川学習センターと清水学習センターの取組についてお伝えします。

福島市学習センター訪問

8月1日 松川学習センター

8月4日 清水学習センター

【松川学習センター】



【ライフステージのニーズに応じた学習を】

子どもから高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた学習を推進しています。その中でも、女性学級「レディースまつかわ」は、毎月1回開催され、健康講座やニュースポーツ、料理教室などを開催しています。学級生も増えてきており、人気のある学級です。また、家庭教育では、家庭教育学級「すくすく」、家庭教育講座「ラッコ」、幼稚園や保育園への出前講座を実施しています。このような多様なかわりが子ども達の成長と保護者の喜びや学びにつながるように運営しています。学校と地域との連携にも取り組んでおり、学習センター見学や学校支援ボランティアの紹介も行っています。地域の方々のニーズを考え、学びや成長を支えている学習センターです。

【清水学習センター】



【みんなが集う学習と街づくりの拠点として】

基本理念に「しみがく」（し：市民が親しみ、み：みんなが集う、が：学習と街づくりの拠点として、く：暮らしを豊かに）を掲げ、豊かに学び、豊かに生きる生涯学習の拠点として取り組んでいます。ライフステージに応じた様々な講座を開設しており、「青年スキルアップ講座」では信夫山散策を行い、清水地区の身近な山の解説を聞きながら散策し、地域の歴史を知る機会となっています。また、ICT活用セミナーでは「スマホ写真講座」を開催し、高齢者の方々が日常生活で携帯電話の機能を有効に活用する方法を学びました。工芸室の中に陶芸窯があるのも特徴です。陶芸教室を実施することのできるため、利用する皆さんの興味関心やニーズに合わせた学習機会の提供を行っています。